

県民の皆さんとめざす姿

食への期待が多様化する中、農林水産業や関連産業等に関わるさまざまな主体によって創出された新たな価値が地域資源を活用した商品等の開発に生かされ、商品として提供されることで、県民の皆さんの豊かな暮らしや「もうかる農林水産業」の実現につながっています。

平成 31 年度末での到達目標

「みえフードイノベーション」や食のバリューチェーンの構築、農林水産業技術の開発と移転などの取組をすすめる中で、地域資源などを生かして新たなビジネスに取り組む農林水産業者や企業、地域などが増加するとともに、こうした事業者を含むさまざまな主体の連携が強化、高度化することで、新たな需要の開発や市場の開拓などの取組が拡大しています。

県民指標						
目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
	現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると感じる県民の割合	42.1%	44.0%		46.0%		50%
目標項目の説明	「みえ県民意識調査」で、魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると「感じる」「どちらかといえば感じる」と回答した県民の割合					
29 年度目標値の考え方	平成 31 年度に 50%を達成することを目標に、各年度に 2%の上昇を目標として設定しました。					

活動指標							
基本事業	目標項目	27 年度	28 年度		29 年度	30 年度	31 年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
31101 食のバリューチェーン構築による新たなビジネスの創出 (農林水産部)	「みえフードイノベーション」から生み出される商品等の売上額 (累計)		12 億円		13 億円		19 億円
		9 億円					
31102 農林水産技術の研究開発と移転 (農林水産部)	農林水産技術の開発成果が活用された商品等の数 (累計)		195 件		235 件		315 件
		155 件					

基本事業	目標項目	27年度	28年度		29年度	30年度	31年度
		現状値	目標値 実績値	目標達成 状況	目標値 実績値	目標値 実績値	目標値 実績値
31103 県産農 林水産物の魅 力発信	魅力発信によ り生み出され た企業との連 携（累計）		50社		100社		200社
		—					
31104 イノベ ーションを担 う人づくり （農林水産部）	「みえ農林水 産ひと結び塾」 における人材 養成数（累計）		10人		20人		40人
		—					

現状と課題

- ①産学官が参画する「みえフードイノベーションネットワーク」の参加事業者等は 573 者（平成 28 年 9 月末時点）となり、県産食材を活用した国際線機内食、県産セミノールを使用した野菜果汁飲料、全国チェーン店での松阪牛バーガーの販売、伊勢志摩サミットを記念した伊勢茶のコンビニスイーツや県産食材をテーマにしたパンなど新たな商品が生み出されました。また、食のバリューチェーン構築に向け、ICT や機能性の活用に向けた検証・研究プロジェクトに取り組んでいます。さらに、三重県 6 次産業化サポートセンターを設置し、意欲ある事業者への個別指導、事業者の掘り起こしや基礎的な知識の習得を目的とした研修等を実施しています。引き続き、県産農林水産物の高付加価値化をめざして、検証・研究プロジェクトや 6 次産業化の推進に取り組む必要があります。
- ②伊勢志摩サミット開催のレガシーを生かす取組では、首都圏の魅力発信に向けて、丸の内エリアのシェフによる県内生産地視察や県産食材を活用したカフェでのメニュー提供を実施しました。また、3 名の有名シェフに「みえの食国際大使」を新たに委嘱し、県産食材のステージアップに取り組んでいます。今後は東京オリンピック・パラリンピック競技大会における食材等の需要を見据え、首都圏における三重県食材の魅力発信等に取り組む必要があります。
- ③農林水産業のイノベーションを促進するための研究事業においては、貯蔵性に優れ新しい販売形態として期待される「粒ブドウ」の生産流通技術、ニホンジカによる森林・林業被害防除技術、アサクサノリの高品質化養殖技術の開発など現場課題に対応した研究に取り組んでいます。引き続き、研究の継続と成果の現場への移転に取り組む必要があります。
- ④県産農林水産物の魅力を発信するために、「みえ地物一番の日」キャンペーンによる県産品の PR、「人と自然にやさしいみえの安心食材表示制度」の事業者と連携したキャンペーンの実施、「第 3 次食育推進計画」の策定と計画に基づく事業の推進、三重ブランドの認定審査事業や啓発資材を活用した魅力発信等に取り組みました。引き続き、県民の県産品に対する認知度向上や購買意欲醸成につながる環境づくり、魅力発信に取り組む必要があります。
- ⑤多様な事業者、分野の人材レベルでのネットワーク構築に向けた「農林水産ひと結び塾」事業においては、生産、流通、研究、販売等の分野の人材が参加し、9 月にサプライチェーンの構築等に関する第 1 回のセミナーを実施しました。今後、事業の中で具体的な成果を生み出すための連携・構築に取り組む必要があります。

平成 29 年度の取組方向

- ①「みえフードイノベーションネットワーク」の拡大を推進し、ネットワーク会員の連携による県産農林水産物の活用や商品の開発・販路開拓などを進めるとともに、食のバリューチェーン構築に向け、県産食材の機能性に関する検証や ICT 活用に向けた検証・研究プロジェクトに取り組みます。また、三重県 6 次産業化サポートセンターを設置し、6 次産業化をめざす意欲ある生産者への支援に取り組みます。
- ②伊勢志摩サミットのレガシーを生かしながら、東京オリンピック・パラリンピック競技大会における食材等の需要に対する供給に向けて、「みえの食国際大使」等を活用し、食に関する事業者の機運醸成を図るとともに、流通販売事業者等と連携した県産農林水産物の素材の磨き上げ、首都圏での魅力発信等に取り組みます。
- ③農林水産業におけるイノベーションを促進するため、農業研究所では、収穫期間の長いナバナなどの新品種・新商品の開発、林業研究所では、低コスト造林やニホンジカによる森林・林業被害防除技術の開発、水産研究所では、アサクサノリの高品質化養殖技術の開発など、さまざまな生産現場における課題解決や商品化を図るための技術の研究開発に取り組むとともに、現場への技術移転を進めます。
- ④県産農林水産物の魅力発信や地産地消の促進に向けて、「第 3 次食育推進計画」に基づく食育の推進、「みえ地物一番」キャンペーンの展開、「三重ブランド」の認定審査や啓発活動等に取り組みます。また、店頭などにおいて県産農林水産物等の魅力を発信するエキスパート人材の育成に取り組みます。
- ⑤「農林水産ひと結び塾」を実施し、農林水産事業者や流通・加工・販売事業者、研究者など、食の分野においてイノベーションを担う人材の能力向上や連携を促進するとともに、新たな商品やサービスの開発、生産性の向上に向け、ICT やビッグデータを活用できる人材の育成に取り組みます。

主な事業

- ①みえフードイノベーション総合推進事業【基本事業名：31101 食のバリューチェーン構築による新たなビジネスの創出】
予算額：(28) 1 2 3, 3 2 0 千円 → (29) 1 6 8, 0 6 7 千円
事業概要：「みえフードイノベーション」のさらなる拡大に取り組むとともに、6 次産業化サポートセンターを設置し、6 次産業化に意欲ある生産者等への支援に取り組みます。
- ②植物工場実証パイロット事業【基本事業名：31102 農林水産技術の研究開発と移転】
予算額：(28) 7, 2 9 7 千円 → (29) 8, 7 4 8 千円
事業概要：農業研究所内に整備した太陽光利用型植物工場において、トマト、イチゴの低コスト化、周年栽培の実証を行うとともに、実証技術を普及・拡大させるための人材育成に取り組みます。

③(新)農林水産物の東京オリ・パラに向けた総合推進事業【基本事業名：31103 県産農林水産物の魅力発信】

予算額：(28) ー 千円 → (29) 2, 0 0 0千円

事業概要：東京オリンピック・パラリンピック競技大会の需要に向けて、県産農林水産物の活用の拡大を図るため、専門部会を設置した協議会等の立ち上げや、加工食材の活用提案等に取り組みます。

④みえの農林水産物の魅力総合発信事業【基本事業名：31103 県産農林水産物の魅力発信】

予算額：(28) ー 千円 → (29) 1 0, 1 3 2千円

事業概要：ブランド力のある品目を中心に三重の魅力を首都圏等において発信します。

また、県産食材のブラッシュアップのため、ネット販売流通事業者等との連携事業に取り組みます。

⑤食で生み出す絆づくり・輪づくり推進事業【基本事業名：31103 県産農林水産物の魅力発信】

予算額：(28) 1, 6 0 4千円 → (29) 4, 9 9 1千円

事業概要：「第3次食育推進計画」に基づき、地域における食育活動を促進するため、さまざまな関係団体等と連携しながら、食育に関する情報発信や啓発活動に取り組みます。また、地産地消活動の拡大に向け、「みえ地物一番の日」キャンペーンを推進します。

⑥県産品のエキスパート人材の育成・確保事業【基本事業名：31103 県産農林水産物の魅力発信】

予算額：(28) 6, 8 3 0千円 → (29) 6, 8 3 0千円

事業概要：販売店などの現場で、県産品の魅力を消費者に的確に伝えるとともに、消費者ニーズを生産者にフィードバックすることで商品開発に結び付けられる、エキスパート人材の育成に取り組みます。

⑦農林水産ひとむすび塾事業【基本事業名：31104 イノベーションを担う人づくり】

予算額：(28) 3, 0 8 8千円 → (29) 3, 0 4 4千円

事業概要：農林水産業における、生産、流通、加工、販売や研究等の各分野から、イノベーションの創出に意欲的な人材を募集し、人材間連携を構築するためのワークショップ等を実施します。